

[05_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467999>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報．5（2），1972-04-27．九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

CARDCOPYプログラムのレベルアップについて

1. レベルアップ事項

- (1) カード識別欄の識別名およびシーケンスが追加あるいは修正できる。
- (2) ///の後のスペースを2個以上あけても良いようにしました。

2. コントロールカードの説明

///□[m] [, n] [, ID=▼abc [, i] [, j]▼]

- (1) m = L P部数、n = C P部数、i = シーケンスの初期値、j = シーケンスのきざみ、
abc = 識別名 (3文字以内)
- (2) [] の中は省略可を示します。
- (3) ID = ▼□□▼ は73~80欄の識別名およびシーケンスを指示します。

3. 注意事項

- (1) m, n がともに省略かゼロの時はL Pのみ1部となります。
例 ///□ (71欄までブランクの時) …… L P 1部
- (2) i, j は共に省略すると、どちらも10となります。
例 ///□0,2,ID = ▼ABC ▼ …… CP 2部、カード識別名がABCで初期値およびきざみは10

4. ジョブ依頼例

\$ NO

\$ QJOB

\$ CARDCOPY

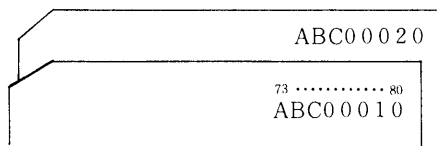
///□1, 2, ID = ▼ABC, 10, 10▼

結果

データ 1

///□2

データ 2



\$ *

\$ SYSPCH

\$ JEND

パンチ出力がある時これらのカードを入れてください。